

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立大倉山小学校 第4学年 78名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックを通して、スポーツのみならず町や人々の暮らしが発展することを知り、世界のたくさんの人々が関わっていることに気付く。</li> <li>・オリンピックに向けての選手たちの絶え間ない努力やオリンピックを支える人々や選手を取り巻く人々の思いに目を向けることで、自分の将来についての考えを深めるための視点をもつことができる。</li> </ul>
5 取組内容	<p>○指導計画【15時間扱い】</p> <p>(総合的な学習の時間 1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な場所の一つとして大倉山のジャンプ台を取り上げ、そこで行われた冬季オリンピックについて知っていることを交流し合い、今後の学習への見通しをもち、意欲を高める。</li> </ul> <p>(総合的な学習の時間 2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の小笠原歩さんやカーリングのことをパソコンで調べ、予備知識を得る。</li> </ul> <p>(総合的な学習の時間 2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季オリンピックである小笠原歩さんによる講話およびフロアカーリング体験を行う。</li> </ul> <p>(総合的な学習の時間 3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演を聴いてオリンピックについてさらに知りたいと思ったことをパソコンで調べ記録する。</li> </ul> <p>(総合的な学習の時間 3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックミュージアムでの現地学習を行い、冬季オリンピックの競技や歴史、意義について知る。</li> </ul> <p>(総合的な学習の時間 4時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックについて学んだことを新聞にまとめる。</li> </ul>

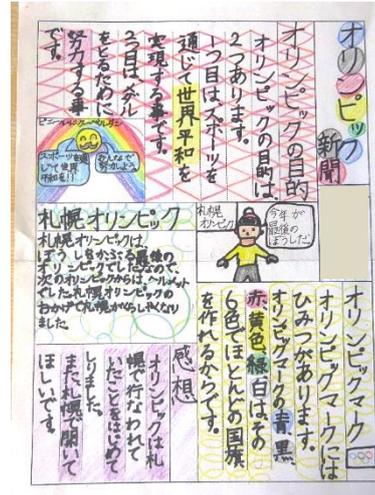
○取組の様子



【カーリングのショットの投げ方を教えてもらいました。】



【カーリングストーンと同じ大きさのものを持たせてもらいました。】



【単元の最後に一人一枚新聞を作成しました。】

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピアンの小笠原さんの講演を通して、子どもたちは選手たちの絶え間ない努力はもちろんのこと、オリンピックを支える人々や選手を取り巻く人々の思いに目を向けることができた。また、オリンピックバリューやモットーは普段の自分たちにも通じることだと感じたり、オリンピックの開催が町や人々の暮らしを発展させることにも気づいたりすることができた。実際にフロアカーリングの体験を通して、オリンピック競技の難しさを肌で感じるとともに、また挑戦したいという思いを持つことができた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年の課題を踏まえて、オリンピアン講師に単元の始めに来ていただき、子どもたちはオリンピックについての実感が沸き、目的意識を持った状態でその後の探究学習に臨むことができた。</li> <li>・カーリングの体験を取り組みの中に入れてことで、子どもたちの関心や意欲がより高まった。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<p>カーリングの体験は子どもたちの心にも残るものであり、実際に体験することでアスリートの技術の高さや、競技の難しさを感じることができたようだ。今回は1時間弱の体験であったが、人数などを考えるともう少し時間が確保されていれば、より十分な体験になった。</p>
<p>9 今後の取組について</p>	<p>次年度は東京オリンピックの開催年となり、子どもたちにとって話題性のあるものとなる。競技場や選手村の建設、インフラの整備、多様な国籍の人々に対応できるようなシステムやサービス、テロに対する安全面の確保、選手の移動など子どもたち自身が生活の中で感じることができる。国民が気持ちを一つにできる盛り上がりや、開催国が受ける恩恵、オリンピックの素晴らしさに気付けるような講演や手だてができればよい。</p>